

ありがとうございました。

◎卓話 五稜郭と五稜郭祭 五稜郭祭実行委員長 堀田 純一氏

10年前、五稜郭公園に対する見かたはどうであったか。単なる公園の一つとしか見ていなかったと思われます。特別遺跡への評価、価値観念が乏し過ぎたのではないのでしょうか。この五稜郭祭を商店街の祭りではなく、函館市民の祭りとして、何んとかして北海道の祭りとして育てていきたいものと念じている人々の第一人者堀田氏を迎え、五稜郭祭のもつ歴史的背景を軸に当時歴史的模様を興味深く、楽しく話して頂きました。

★あなたにはロータリーでどんな仕事があるか

われわれのみんなが、毎年、会長か、幹事か、あるいは理事会のメンバーになる、というわけにはいかない。だからといって、ロータリーにはわれわれがすすんでやらなければならないようなことは何もないのだ、ということにはならない。各自が新会員推薦の義務を果すということも、われわれの一つの仕事である。あなたは、このところ、新会員の推薦をされているだろうか。あなたには、まだほかに推薦したいと考えておられる人があるだろうか。

◎出席報告

会員数	71名	出席率	函館北(4/26)	99.18%
出席	53名		函館東(4/25)	97.88%
欠席	2名		函館(4/27)	94.17%
他クラブ出席	16名		函館五稜郭(4/28)	100.00%
出席合計	69名		亀田(4/24)	87.50%
出席除外者	0名			

次回例会日 5月24日

プログラム 函館に於ける200カイリ・造船不況問題について
函館市長 矢野 康氏



第251地区

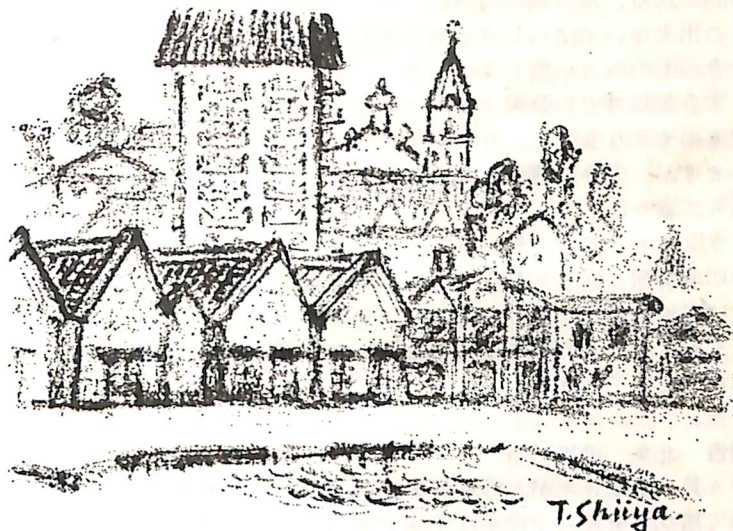
函館北ロータリークラブ会報

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

SERVE TO UNITE MANKIND
全人類を結びつけるために奉仕せよ
(R.I. 会長 W. ジャック デービス)

第699回例会

1977-1978 第45号 1978. 5. 24



東 浜 界 限

椎 谷 龍 彦 会 員

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30 例会場 国際ホテル
事務所 函館市大手町5-10 日魯ビル 3階 電話(0138)23-3870

本日のプログラム

“函館に於ける200カイリ・造船不況問題について”
函館市長 矢野 康氏

第698回例会記録

- ◎司 会 下郡山 信 一 会長
- ◎齊 唱 我等の生業
- ◎ビジター 函館 R.C. 大坂谷道三君他7名 函館東 R.C. 白崎 豊君他1名 五稜郭 R.C. 平田 康明君他5名

◎会長報告 下郡山信一会長

5月14日より18日まで、東京でR.I.国際大会が開催され本日も開催中ではありますが、私も最初の2日間だけですけれども出席させて頂きまして、見て参りました。聞いて参りました。

参加国124ヶ国、参加者38,000名との大会初日での公式発表があり、大会場へ乗り越んだ最初の印象は、只々すばらしい！立派だ！の一言に尽きる大会でありました。

2日間に亘る、本会議の内容につきましては、仲々言葉を以っては云い現わすことの出来ないすばらしさでありまして、とも角々参加しなければ味合うことのできぬものゝとの感じであります。

又、本会議以外での余興アトラクションも興味深いもので、バラエティーに富んだものでありました。詳細に付きましては、ロータリーの友に掲載されると思いますが、大会の運営・内容すべてが只々すばらしいのみで、感激一杯で帰って参りました。

当クラブより8名の会員が参加致しましたが、何はともあれ参加しなければ！との印象を深く感じました。次回よりの国際大会には是非共、会員の皆様方も一度は必ず参加してこのすばらしさを味わって頂きたいとの思いが強く感じられました。まことに簡単な報告で申訳けございませんが、以上R.I.国際大会に参加した感じのまゝをお知らせ申し上げます次第です。

◎幹事報告 北条 澄雄幹事

当会々員の清水さんが、昨日深瀬病院に入院なされました。まだ休会届が提出されて居りませんので詳細は不明ですが、一日も早く全快されて、お元気な顔で例会に出席されますように、祈念させて頂きましょう。

第四期分の会費を未納の会員が現在20数名おられますが、会の運営に支障をきたさぬように早目に御納入下さるよう、ご協力をお願い致します。

5月22日の亀田R.C.の例会は、夜間例会に変更になりました。午後6時よりホテルオークランドに於いて、ピジター料は2,000円です。

先週も御案内致しましたが、函館東R.C.の創立20周年記念ゴルフ大会の参加者を募集して居りますが、当クラブからの希望者が非常に少ないので、再度参加案内をさせて頂きませんが、是非お申込み下さい。

最後になりましたが、本日例会後に臨時理事会を開きますので、時間はとらせないでお残し頂きたいと思ひます。

◎親睦活動委員会 沢田 鶴造副委員長

ニコニコBOX投入のお知らせ

高橋 会員……本日、卓話をします。

竹野 会員……ゴルフコンペで優勝しました。

西巻 会員……ゴルフコンペで優勝しました。

市川 会員……長男が医師国家試験に合格しました。

安藤 会員……ホームクラブ欠席のおわび。

鋤柄 会員……支店が頭取表彰を受けました。

川村昭会員……ホームクラブ欠席のおわび。

◎卓話 “納豆談義” 高橋 仁志会員

本日、会員卓話で新入会員の高橋仁志君の職業である「納豆製造販売」にちなんだ卓話があった。親の代よりの職業であり、同君は少年時代より何処へ行ってもニックネームが「納豆」と付けられ、つくづく親の商売が嫌になり、18才の時神奈川に出掛けて別の道を歩みかけたが、結局は宿命と云うか、親の商売を引継ぐ事になりました。との語り出しから始まり、私達の最も身近な食卓を飾る伝統的な食べ物と云う事で非常に興味深く一同拝聴させて頂きました。

納豆のルーツを訪ねれば、彌生時代からその存在があったであろうとの事から、西歴593年、推古女帝時代に摂政であった聖徳太子が滋賀県に一体の仏像を納めて逗留した際に納豆の製法を伝授した(唐納豆?であろう)とか、大和時代に寺院の納所(ナッショ)に豆を納めたところから納豆と云う言葉が出たとか、全国的に納豆にまつわる伝説が非常に多い事にも日本的な伝統ある納豆の歴史が伺えます。

現在、日本全国で常食されている納豆は、東北で生れた納豆であります。その歴史を調べました処、西歴1051年、前九年の役に八幡太郎義家が阿部一族の奥州征伐に出掛けた時代が、その発祥であろうとされています。

当時の軍団には馬は欠かせぬものであったが、その為には馬糧(特に大豆類)とわらは必需品であった分けです。そうした豆とわらが納豆の自然発生の芽生えでなかつたかとの事です。前九年の役で前述の八幡太郎義家が秋田に進撃した節に、夜襲に会い、馬糧として持参した豆を俵につめ込み退去したがその途中雨に当り天日にさらされている内に自然に発酵して出来たのが、東北納豆のルーツとされている様です。何分にも八幡太郎義家は、大豆とソバを粉にして酒にひたして丸薬とした携行食を発案したりした兵法家であったと云われておりますので、自然発酵した納豆を又、非常携行食として重用した事は当然であったと思われ。好むと好まざるに係わらず、自然に身体が要求する山岳地帯での蛋白質の摂取に納豆は大いに活用されたにちがいないと思ひます。

室町時代は現在の日本の食生活の基礎が出来た時代であると云われていますが、その文献にも納豆が食卓に乗った記録がありますし、事来戦国時代から江



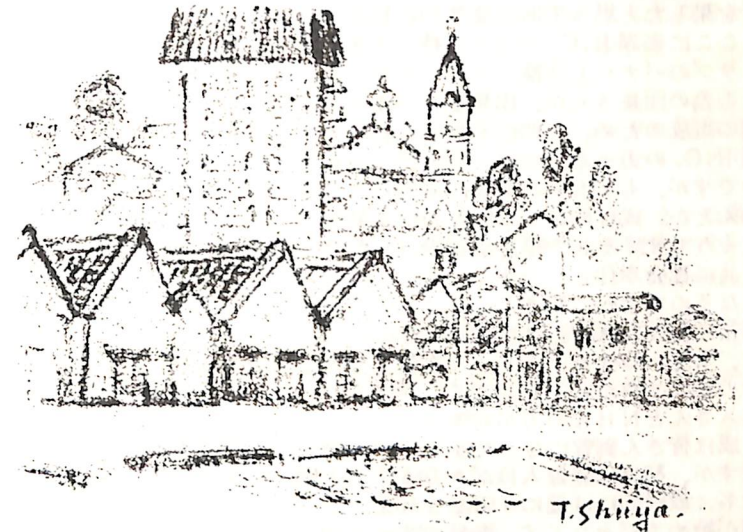
函館北ロータリークラブ会報

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

SERVE TO UNITE MANKIND
 全人類を結びつけるために奉仕せよ
 (R.I. 会長 W. ジャック デービス)

第700回例会

1977~1978 第46号 1978. 5. 31



東 浜 界 限 椎 谷 龍 彦 会 員

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30 例会場 国際ホテル
 事務所 函館市大手町5-10 日魯ビル 3階 電話(0138)23-3870

本日のプログラム **事務局長 村田政雄**
 “おしゃれと健康” 函館社会福祉協議会
 会長 **山内源吾氏**

第699回例会記録

- ◎司 会 下郡山 信 一 会長
- ◎齊 唱 それでこそロータリー
- ◎ビジター 網走西 R.C. 新谷 泰博君 根室 R.C. 富山 与作君
 気仙沼 R.C. 佐藤 順治君 函館 R.C. 石塚 元彦君他 6
 名 函館東 R.C. 吉村 昭二君他 1名
 五稜郭 R.C. 柳沢 勝君他 4名
- ◎ゲ ス ト 函館市長 矢野 康氏

戸前期までは城内食や非常食携行食として扱われていた納豆が江戸時代後期より常用食となり、やがては各家庭毎に造られていた納豆も業者による製造販売へと進歩がとげられて来る様になりました。

納豆の製造販売ルーツとしては、明治維新後の廃藩置県によって生じた仙台藩の士族の生活維持の為に、岩手山の南面平野を仙台藩が開拓して授産事業を開始しましたが、良質の豆に納豆菌が附着し、それが基となって鉄道開設後、大量の納豆を製造し東京に出荷したのが、納豆製造販売の専門業者の発祥とされております。

更に、常盤線開通後、水戸の笹沼某と云う人が仙台に納豆製造の修業に来て水戸に帰って納豆の製造を始めると共に、原料の大豆の栽培を行ったが小粒の大豆が取れ、それで納豆を造って東京に出荷した所が好評であったのが、全国でも有名な水戸納豆であります。

室の中に大豆を入れて2晩がかりで自然に造った納豆が、やがては納豆菌の単独の働きを活用した製造に移り、納豆菌の純粹培養が出来るようになり、更に衛生的な容器に入れての販売へと進歩し、現在の納豆が存在しているわけでありませう。現在市販の納豆は約100g入りですが、その中に消化を助け、他の病菌を殺す役割を果す納豆菌は、1,000億入りして居ります。ちなみに昭和11年、納豆菌は腸チフスや赤痢菌を殺す！と新聞に報道されるや、夏期間も納豆が売れる様になり、現在では季節を問わず年中各家庭の常用食とされるに至っております。

最後に昨年度の日本国内での大豆消費量は360万トンであります。国内での産出は13万トンで他は輸入大豆でありまして、特にその大部分である320万トンはアメリカ産の大豆を輸入したものであります。アメリカに依存している現状が我々商売の一番の泣き所であります。(日本の伝統ある食品が、実は輸入食品であったとは……と卓話後の下郡山会長の言葉でありましたが、せいぜい保健衛生上からも納豆をご愛用下さい。)

◎出席報告

会 員 数	71名	出 席 率	函 館 北 (5 / 3)	休 会
出 席	53名		函 館 東 (5 / 2)	98.88 %
欠 席	18名		函 館 (5 / 4)	90.08 %
他クラブ出席	17名		函館五稜郭 (5 / 5)	休 会
出席合計	70名		亀 田 (5 / 1)	87.50 %
出席除外者	0名			

次回例会日 5 月 31 日
 プログラム “おしゃれと健康” 函館市社会福祉協議会
 会長 山内源吾氏